

都道府県名：群馬県	市町村名：渋川市
1. 活動名 親子ふれあい森林自然観察会	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>渋川市の西方、榛名山の東中腹には、県の施設で、身近に森林や自然について学べる展示室等が整っている。</p> <p>このため、市内に住む子ども達を対象に、森林のはたらきや自然の仕組みを理解し、自然を大切に作る心を育て、自然保護の思想の高揚を図っている。</p>	
3. 実施主体 渋川市	
<p>4. 取組の概要</p> <p>毎年、夏休み8月の第一土曜日に、県の施設「憩いの森及び森林学習センター」を利用し、親子で森林の仕組みや働きなどの学習や体験を行っている。</p> <p>参加者の募集は、しぶかわ広報の掲載や市内の小学校全校へPR用のチラシを配布している。</p> <p>学習内容は、憩いの森の森林内を実際に歩いてもらい、講師から自生する山野草や樹木の説明を聞いたりしながら、森林の生態やはたらきなどを学んでもらう。また、間伐材を利用した丸太切り体験や松ぼっくり、小枝など森の材料を利用した木工工作に励んでもらう。お土産にカブト虫を配り、昆虫の飼い方を教えたり、生き物の感触を味わってもらう。</p>	
<p>5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援事業は特にない。 ・ 自然観察、丸太切り体験等の講師はボランティアによる。また、間伐材は地元森林組合からの提供。 ・ 当日の参加者が使う消耗品代（25,000円程度）は、地域の林業関係者等で組織する「渋川地区林業振興協会」からの助成。 	

6. 取組等についての成果や課題

「親子ふれあい森林自然観察会」は平成5年度から実施している。

これら参加者は、この観察会を親子で楽しい夏休みの思い出づくりと自然保護思想の高揚に成果を上げている。

しかしながら、年々参加者が減少してきている現状から、今後、内容の更なる充実とPR方法を検討する時期にきている。

写真添付欄



写真の説明欄

森林内を歩き、講師から樹木の名前や説明等を聞いたりし、森林の生態やはたらきなどを学ぶ様子



間伐材を利用し丸太切り体験をする子ども達





学習センター屋内において、間伐材を輪切りにした材料や小枝などを利用し木工作品を作成する様子